



令和3年5月31日

令和2年度 決算概要

愛媛県信用農業協同組合連合会

本日の経営管理委員会において承認された令和2年度の決算概要については、以下のとおりです。

当会の貯金残高は、県内JAからの預り金の増加等により、1兆6,757億円(前年度比+1.5%)となりました。

運用資産につきましては、貸出金が1,002億円と前年度比8.1%増加し、有価証券が5,874億円と前年度比8.0%増加した一方、農林中央金庫等への預け金は1兆351億円と前年度比2.2%減少しました。

経常収益につきましては、貸出金や有価証券等の増加により資金運用収益の確保に努めましたが、低金利環境の中、高利回りの有価証券が売却等により減少し運用利回りが低下したことや受取奨励金等のその他受入利息が減少したことを主因として、16,608百万円(前年度比▲7.2%)となりました。

損益につきましては、経常利益が3,791百万円(前年度比▲9.5%)、当期剰余金が3,388百万円(前年度比▲8.2%)と前年度比では減益となりましたが、事業計画対比では上振れる結果となりました。前年度比で減益となった要因につきましては、経常収益の減少に加え、新型コロナウイルス感染症にかかる対策費として、計画していなかった県内JAへの営業対策助成金や非接触検温器の導入費用、農業収入が一定割合減少した農家世帯等へのお見舞い給付金の支出を行ったことなどによるものです。

なお、本業のもうけを示す業務純益は、3,532百万円(前年度比▲18.7%)となりました。

金融再生法による開示債権残高は49百万円と前年度からほぼ横ばいとなり、開示不良債権比率は0.04%(前年度比▲0.01ポイント)となりました。この不良債権額については、優良保証等により概ね保全されており、経営に与える影響はありません。

単体自己資本比率は16.31%(前年度比▲0.50ポイント)となりました。

令和3年度(単体)は、有価証券等の運用環境が厳しいことなどから、経常収益16,224百万円(前年度比▲2.3%)、経常利益3,608百万円(前年度比▲4.8%)、当期剰余金3,232百万円(前年度比▲4.6%)を見込んでいます。

当会は、今後とも一層の財務体質の健全化と強化に努め、県内のJAバンクの安定的運営に寄与することにより、愛媛農業の振興と地域の発展に貢献して参ります。

別添「令和2年度 決算概況」参照

以上

JA 愛媛県信連
(愛媛県信用農業協同組合連合会)

令和2年度 決算概況

【単体】

(単位:百万円、ポイント)

	金額等	前年度比		備考	
		増減率	増減額等		
注1)	貯金残高	1,675,755	1.5%	24,362	
	預け金残高	1,035,128	▲ 2.2%	▲ 23,269	
	有価証券残高	587,413	8.0%	43,606	
	貸出金残高	100,269	8.1%	7,522	
注2)	総資産残高	1,827,029	2.0%	35,080	
	貸倒引当金	91	30.0%	21	
	経常収益	16,608	▲ 7.2%	▲ 1,285	
	経常利益	3,791	▲ 9.5%	▲ 399	
	当期剰余金	3,388	▲ 8.2%	▲ 303	
注3)	業務純益	3,532	▲ 18.7%	▲ 813	
注4)	評価・換算差額等合計	13,827	431.4%	11,225	
	その他有価証券評価差額金	14,031	495.4%	11,674	
	繰延ヘッジ損益	▲ 204	▲ 183.3%	▲ 449	
	自己資本比率	16.31%	-	▲ 0.50	
	普通出資配当率	2.70%	-	0.00	
金融再生法開示債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	-	-	-	
	危険債権	49	1.8%	0	
	要管理債権	-	-	-	
	(小計)	49	1.8%	0	
	(総資産に占める割合)	0.00%	-	0.00	
	(貸出債権に占める割合)	0.04%	-	▲ 0.01	
	正常債権	100,554	8.2%	7,591	
	計	100,603	8.2%	7,592	

<令和3年度事業計画値>

経常収益	16,224	▲ 2.3%	▲ 384	令和2年度対比
経常利益	3,608	▲ 4.8%	▲ 182	
当期剰余金	3,232	▲ 4.6%	▲ 155	

注1) 貯金残高には、譲渡性貯金を含んでいます。

注2) 総資産残高は、「貸借対照表」の資産の部の合計額です。

注3) 業務純益は以下の算式によって算出しています。

$$\text{業務純益} = \text{事業収益} - (\text{事業費用} - \text{金銭の信託運用見合費用}) - \text{一般貸倒引当金純繰入額}$$

注4) 評価・換算差額等合計は、税効果相当額を控除した値です。

令和2年度 決算概況 (参考資料)

【参考1】 損益の状況

(単位:百万円)

	R2年度決算		R1年度決算
		前年度比	
資金収支	3,184	▲ 1,143	4,327
資金運用収益	12,288	▲ 1,409	13,697
資金調達費用(▲)	9,103	▲ 265	9,369
役務取引等収支	▲ 34	▲ 53	19
その他事業収支(注1)	686	▲ 1	688
経費(▲)	1,883	▲ 210	2,094
貸倒引当金戻入益	-	▲ 234	234
貸倒引当金繰入費用(▲)	21	21	-
有価証券関係売買損益	1,535	605	929
国債等債券関係	1,485	119	1,366
株式等関係	49	485	▲ 436
金融派生商品損益	▲ 0	0	▲ 0
その他経常収支(注1)	323	237	86
経常利益	3,791	▲ 399	4,191
特別損益	▲ 5	▲ 4	▲ 0
税引前当期利益	3,785	▲ 404	4,190
当期剰余金	3,388	▲ 303	3,692

【参考2】 金融再生法債権区分に基づく保全状況

(単位:百万円)

債権区分	債権額	保全額				保全額 控除後
		担保	保証	貸倒引当金	計	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	-	-	-	-	-	-
危険債権	49	-	39	-	39	9
要管理債権	-	-	-	-	-	-
計	49	-	39	-	39	9

(注1) その他事業収支およびその他経常収支は、有価証券売買損益および貸倒引当金繰入等の数値を除いています。